

未来セッション-空き家空き店舗活用-

豊橋リノベーションまちづくり vol.03



将来のエリア妄想

第3回目もファシリテーターの藤田さんの進行により、前回、各グループから発表された様々なまちなかのエリア分析を振り返り、ワークショップの最後に各グループがまとめる将来のエリア妄想の中で一番良かったものを参加者とスタッフの投票で選ぶこととお話しいただきました。市からはこの結果を今後のリノベーションまちづくりの中で、まちづくりに関する共通の方向性を示すものとして活かしていく旨をお伝えし、各グループの士気がより高まった中でグループワークが始まりました。

学生や住民、商店主など、立場も年齢も様々な各グループから出された将来像には、前回も出た通りや空き物件だけでなく、景観、緑、公園などの視点も加えられました。全く違うものに変えてしまうのではなく、今あるエリアのイメージを活かすというもので共通する点が多いものでした。

※将来像、目指す方向性はまた報告します。

押しエリア妄想は？

～エリアイメージと活用の一部抜粋～

松葉は大人向けの飲み屋街、水上ビル付近は若者向けのカフェなどを配置し、豊橋駅から離れるにつれて、オフィスや住宅エリア、特に広小路2～3丁目あたりは塾などの学びのエリア、魚町は食のまちとする。

松葉公園地下駐車場に車を止め駐車場と萱町通りのベンチを使うことを前提に、広小路・駅前大通り・水上ビルの散策を楽しむエリアとする。また、歩道を2階建てとし、ペDESTリアンデッキからまちのお店につなげることで雨の日は一階を歩け、濡れずにまち歩きを楽しむようにする。

花園は寺町にちなんだ祭り、札木はかつての夜店を開催したり、東西の動線となる通り沿いの空き物件をリノベーションし、通りごとの魅力をつくる。



3回目を経て

あっという間、有意義で楽しいワークショップでした！取り組んでいく中で大変なこともあると思いますが、楽しむことを忘れず、描いた楽しい将来を目指す、これから考えるとワクワクしちゃいますね。皆さんと出会って、これで終わりは寂しいという思いになりましたので、将来像・目指す方向性の報告会を延長線でやりましょう！

[ファシリテーター 藤田 まや 氏]

回を重ねるたびにグループ内での話が盛り上がり、休憩時間も思いを伝えあう景色が生まれ、これで終わるのはもったいないと思うワークショップとなりました。今回のまとめ様に伝える場を設け、エリアのイメージを共有しながら空き家空き店舗活用を進めていければと思います。参加者の皆様、ファシリテーターの藤田さん、安井さんありがとうございました。

[豊橋まちなか未来会議事務局 大桑]

豊橋のまちなかの情報や
未来ビジョンなどはこちらから

